

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法：平成18年度）

平本圭二*

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Keiji HIRAMOTO

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、社団法人全国和牛登録協会の定める産肉能力検定（直接法）を実施した。

- 1 平成18年度には5頭の直接検定を実施し、そのうち4頭の検定が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGは、1.23kg、平均得点は83.8点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「新初英」、「藤美咲」及び「花天翔」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：牛、和牛、種畜、産肉能力検定（直接法）、増体量

緒 言

和牛経営においては、繁殖雌牛の産肉性及び種畜性の改良が大きなウエイトを占めており、優良種雄牛の作出が急務である。

そこで、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性の優れた雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、産肉能力検定（直接法）を実施した。

材料及び方法

1 検定牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された基礎雌牛等の産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものについて検定牛と

して選抜した。

平成18年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると「花茂勝2」の産子が2頭、「沢茂勝」、「藤桜」及び「勝福茂」の産子が各1頭の計5頭であった。

また、平成18年度検定終了したものは、平成17年度開始分が2頭、平成18年度開始分が2頭の計4頭であった。なお表2に検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

2 検定方法

検定方法は、社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法（直接検定）に準拠し、次のとおり実施した。

- (1) 検定開始月齢：6～7カ月齢
- (2) 検定期間：112日間
- (3) 検定飼料及び給与方法

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登記番号	血 統			産 地	検定期間
				父	母	母の父		
H17-4-1	西 福 花	H17.08.29	05子岡黒5556	花茂勝2	ふくひめ9	利 花	新見市	H18.03.22
2	新 初 英	H17.07.07	05子岡黒1117	沢 茂 勝	しんはつひめ	利 花	新庄村	～ H18.07.12
H18-1-1	藤 美 咲	H17.11.28	06子岡黒 187	藤 桜	みよこ11	第2富藤	美咲町	H18.07.12
2	花 天 翔	H17.11.24	06子受卵岡黒 188	花茂勝2	第2はつひめ	平 田	美咲町	～ H18.11.01
H18-2-1	勝 茂 波	H18.06.30	06子岡黒 897	勝 福 茂	ふくなみ2	茂 重 波	倉敷市	H19.03.07 ～ H19.06.27

濃厚飼料：直接検定用飼料を体重比 1.0
～ 1.3 %制限給与
(DCP 12.5% TDN 70.5%)
粗飼料：チモシー乾草を飽食

最高 600kg（新初英）、最低 523kg（西福花）
で平均 566 kg であった。

また、粗飼料摂取率は、最高 58 %（西福花、
藤美咲及び花天翔）、最低 52 %（新初英）で
平均 57 % であった。

3 検定調査項目

1 日当たり平均増体量（DG）、365 日齢補正
体重、飼料摂取量、体重（2 週間毎）、各部
位測尺（4 週間毎）、終了時審査得点

3 終了時の発育及び審査得点

終了時の体高は、平均 126.4cm であり、4 頭
全てが社団法人全国和牛登録協会の定める和牛
発育標準（雄）の平均を上回る成績であった。

また、審査得点は、最高 84.9 点（新初英）、
最低 82.7 点（藤美咲）で平均 83.8 点であった。

検定成績

平成 18 年度に検定が終了した 4 頭について、
検定成績を表 3 に示した。

1 増体量

1 日当たりの平均増体量は、最高 1.43kg
（花天翔）、最低 0.95kg（西福花）、平均
1.23kg であった。

また、365 日齢補正体重は、最高 442.9kg
（花天翔）、最低 381.6kg（西福花）であり、
平均で 416.9kg であった。

2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量についてみると、DCP で最高 81kg
（新初英）、最低 67kg（西福花）で平均 74kg
であった。また、TDN でも同様の傾向が見られ、

4 候補種雄牛の選抜

岡山県和牛改良委員会において、直接検定成
績、血統及び体型等の結果を総合的に協議した
結果、「新初英」、「藤美咲」及び「花天翔」
を候補種雄牛として選抜した。

参考文献

- 1) 和牛登録事務必携（平成 17 年度版）.（社）
全国和牛登録協会編. 158-160

表 2 検定牛の産肉能力期待育種価 (kg, cm², cm)

セットNo.	名 号	期 待 育 種 価			
		枝肉重量	コース芯面積	バラの厚さ	脂肪交雑
H17-4-1	西 福 花	32.333 (B1)	5.046 (A3)	0.816 (5%)	1.309 (5%)
2	新 初 英	47.402 (A2)	9.026 (3%)	0.505 (A3)	1.533 (1%)
H18-1-1	藤 美 咲	17.354 (B2)	2.772 (C)	0.170 (C)	0.767 (B2)
2	花 天 翔	52.860 (A1)	6.604 (A2)	1.306 (1%)	1.478 (3%)
H18-2-1	勝 茂 波	53.582 (A1)	10.397 (1%)	0.661 (A1)	1.381 (3%)

注意) () 内は下記のランクを示す

1%：上位1%以上 3%：上位3%以上1%未満 5%：上位5%以上3%未満
A1：上位10%以上5%未満 A2：上位15%以上10%未満 A3：上位25%以上15%未満
B1：上位1/3以上25%未満 B2：平均以上上位1/3未満 C：平均未満

資料：育種価は第25回育種価(H19.3公表)を使用

表 3 検定成績結果 (kg, %, cm, 点)

セットNo.	名 号	1 日平均 増体量	365 日齢 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	産 地		
				DCP	TDN		体高	発育	審査得点
H17-4-1	西 福 花	0.95	381.6	67	523	58	126.2	5-(4)	83.2
2	新 初 英	1.26	427.7	81	600	52	130.4	5-(4)	84.9
H18-1-1	藤 美 咲	1.26	415.2	72	558	58	126.0	4-(5)	82.7
2	花 天 翔	1.43	442.9	75	585	58	123.0	3-(5)	84.2
平	均	1.23	416.9	74	566	57	126.4		83.8